



京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト

単元「リアルデート DV」 指導案

※以下でご提案しているのは、一つの例です。先生方の目標や子どもたちの実態に合わせて、適宜、アレンジして実践していただければ幸いです。

※[]内の数字は、ウェブサイトに掲載しているファイルのナンバリングを示しています。

教科	総合的な学習の時間	学校段階・学年	中学校・2年
単元名	リアルデート DV—支配と依存のメカニズム—		
授業の時間数	全 1～2 H		
単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・デート DV の定義や分類、関連する法律や法的措置、相談機関などについての知識を得る。 ・親密なパートナーとの関係が悪化すると、ときに社会的・心理的な問題へと発展することを理解する。 ・親密な関係における支配・依存のリスクやメカニズムを知ることによって、日常に潜む DV に気がつけるようになる。また、幸せなパートナーシップを築くための方法を考え、実践できるようになる。 			
指導の流れ			
時間	教師による指導	子どもの活動、反応例	教材・教具など
0:00	<p>①授業の直前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前もって教具を各班の机に配布しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ席を班(4～5人)の形にしておく。 ・机に置かれている教具はまだ見ないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4コマ漫画(班活動用)[2-1] ・分類ワーク用短冊[2-2] ・分類ワーク用ワークシート[2-3]
0:00	<p>①恋愛における支配・依存関係の事例を漫画から考える【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恋愛模様を描くイラストや漫画を提示し、それぞれ「あり」か「なし」か問いかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画で描かれている内容について、自分だったらどう思うか簡単に話してみる(「あり」「なし」の2択)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用スライド[0-1]
0:05	<p>②デート DV の定義を知る【展開Ⅰ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを提示する。 ・恋愛感情が生じる生物学的なしくみを説明し、恋愛感情はときに冷静な判断も曇らせることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを確認し、授業のゴールに見通しをもつ。 ・恋愛感情には正の側面と負の側面の両方があることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用スライド[0-1]

<p>0:10</p>	<p>・恋愛感情が暴走した事例を動画で見せ、デートDVの定義を教える。一般的な「暴力」のイメージと異なる暴力があることも併せて説明する。</p> <p><u>③デートDVの分類活動【展開2】</u></p> <p>・デートDVには5種類の暴力があることを確認し、4コマ漫画で具体的なイメージを掴むよう指示する。</p> <p>・教具を準備させ、4コマ漫画と暴力の種類との対応関係を簡単に考えさせる。その後、クラス全体で確認する。</p> <p>・封筒から分類ワーク用短冊を取り出させ、これらも分類させる。一つの短冊が複数の暴力にまたがりうることも活動の前に伝える。</p> <p>・短冊に書かれている行為は法的に禁じられた犯罪となりうることを確認する。</p>	<p>・デートDVのイメージを具体的に掴むとともに、デートDVの定義を知る。</p> <p>・封筒から4コマ漫画を取り出し、伏せていた分類用ワークシートを裏返す。</p> <p>・4コマ漫画を班で読み、それぞれどの暴力に分類できるか考える。</p> <p>・封筒から分類ワーク用短冊を取り出し、分類する。</p> <p>・短冊に書かれている行為が法的にどのような扱いを受けているのか知る。また、実際に被害を受けた際の対象法を知る。</p>	<p>・授業用スライド[0-1]</p> <p>・4コマ漫画(班活動用)[2-1]</p> <p>・分類ワーク用短冊[2-2]</p> <p>・分類ワーク用ワークシート[2-3]</p> <p>・暴力種の見出し(板書用)[2-4]</p> <p>・板書用4コマ漫画[2-1]</p> <p>・板書用短冊[2-2]</p> <p>・罪状の見出し(板書用)[2-5]</p>
<p>0:25</p>	<p><u>④支配と依存のメカニズムを考える【展開3】</u></p> <p>・翔太の言動を「青信号」「黄信号」「赤信号」の3つに分類することを伝え、漫画のプリントを配布する。</p> <p>・活動時間中に黒板上で分類をさせる。</p> <p>・それぞれの信号の名称(イライラ期など)を紹介した上で、「なぜ青信号の時期があるのか」と問いかける。</p> <p>・青→黄→赤→青……のスパイラルがデートDVを維持してしまうことを確認する。</p> <p>・美奈の「リカたちとの約束も断るし他の男とも話さないから」というセリフから、美奈と翔太の支配-被支配の関係</p>	<p>・二人一組で漫画プリントを1コマずつ検討し、翔太の言動に何色のシールを貼るか考える。</p> <p>・活動時間中に割り当てられた漫画のコマの分類を黒板上で行う。</p> <p>・「青信号」の時期がどのような役割を果たしているのか考察した上で、デートDVがどのように維持されるのかを理解する。</p> <p>・美奈の言動から、支配-被支配の関係のイメージを掴む。</p> <p>・依存関係から抜け出すための方法について考える。</p>	<p>・授業用スライド[0-1]</p> <p>・漫画プリント[3-1]</p> <p>・丸シール(緑、黄、赤)[3-2]</p> <p>・信号機[青、黄、赤](板書用)[3-3]</p> <p>・ピクトグラム(板書用)[3-4]</p> <p>・漫画コマ(板書用)[3-5]</p>

0:45	<p>を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ美奈は翔太から離れないのか」「なぜ翔太はここまでのことをするのか」問いかけ、依存関係から抜け出すために必要なことを考えさせる。 <p><u>⑤恋愛〇ヶ条をつくる【まとめ】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せなパートナーシップを築くためのルールを各班 1~2 つ考えさせる。 ・クラス全体で共有し、クラスで作ったルールを確認する。 ・授業を締める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各班で 1~2 つのルールを考える。 ・クラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用スライド[0-1] ・短冊(ルール記入用)[4]
留意点			
<ul style="list-style-type: none"> ・「恋愛は悪いものである」というメッセージを伝えたいわけではないことに注意を促す。 ・デート DV を実際に受けたことのある・行ったことのある生徒がいる可能性にも配慮し、デート DV 当事者を断定的に批判することは避ける。あくまでも社会的・心理的な問題から支配-被支配の関係に陥ってしまった(なので改善できる)という説明を心がける。 ・授業のスライドや問いが多く、ボリューム感のある内容になっているので、授業者の伝えたいことや生徒の様子に合わせて適宜省略をすることも可能。 			